RC Koshien YAMAHA WR250X

76万6500円～79万2750円
■Y S P大阪翼面　TEL0727-26-5310

撮影／海保 研（フォトスペースRS）　文／中村浩史
衣装協力／南海部品 TEL06-6344-1581

WRの魅力を再確認させるツボを抑えたチューニング

ルックスを変えるスタイリング、雰囲気を変えるドレスアップ。ならばRC甲子園は、どんなオートバイでも、徹底的にパフォーマンスアップにこだわる。

俎上に上げたのは、史上最強のオフローダーとの呼び声高いWR250、そのストリートモタードバージョンであるX。けれどRC甲子園の代表である西上さんは、WRをそう見ていない。

「こういうスタイリングだと、すぐにモタードだとか、史上最強の、なんて飾りをつようとする。でも、そんな必要はないんです。シンプルに、WR、特にXは、最高によくできたストリートスポーツバイクなんですよ」

誰もが驚いた、WRの完全新設計エンジンと、アルミフレーム。もうベースとなる性能は充分すぎる。もっとパワーを上げて「スーパーな」スポーツにするのも造作ないことだけれど、甲子園が考えるのは、あくまでもストリートをメインに走るスポーツ。いつでもどこでも、誰でもリラックスして乗ることができるオートバイでなければならない。

「パワーの質がね、少しモッサリしているから、それをもっと歯切れよく、キレのあるパワーフィーリングにしたかった。マフラーはボルトオンで、インジェクションは一切いじっていない。誰だって、マフラーをつけてすぐに、静かで速いWRが手に入るんです」

それでいて、音量は規制をキッチリ下回る90デシベル。爆発のひとつひとつが小気味よく、かつ静かなまま。スタンダードのマフラーは、確かに静かだが、味も素っ気もないノーサウンドだから、これくらいがちょうどいい。

そしてRC甲子園のWRは、明確に速い！　完全に排気量が50ccくらい増したようなパワーで、しかも車体が軽い。聞けばスポークをチタン製としてバネ下重量を軽減しているから、ハンドリング、特に車体の倒れこみや切り返しが、拍子抜けするほど軽く、アッという間にオートバイが動く感覚なのだ。

オフとかモタードとかいうワクを取り払った、最高のストリートスポーツ。WRは、その素質にあふれている！

いつでもどこでも誰でもが性能をフルに発揮できるスポーツカスタム

1/2.騒音と排気ガス規制をパスした、自社開発のヒットマンマフラー。チタンサイレンサーでエキパイはステンorチタン、さらにサイレンサーをステー直止めか、写真のバンド止めか選択可能。装着だけで、低回転から高回転まで、ハッキリ体感できるパワーアップ。3.高いシートのため、リアサスの車高調整とフォークの突き出しで対策。4.市販に向けて開発中のチタンスポーク。約4割の軽量化だというが、その効果がハッキリ体感できた。

今までの常識を超えた動力性能を発揮するヤマハWR250Xをファインチューン。すでにスゴいバイクを、手軽に他オーナーよりもう1ランクだけスマートなコンプリートモデルだ。メインステージはやはりストリート。チタンスポークで軽快さを増したハンドリングとパワーアップで、WRを意のままに操ることができる。マフラーは、ボルトオンだけで吸気系をそのままに、静かにパワーアップ。がコンセプト。静かなだけでなく、歯切れのいいサウンドだった。